

注3

大学番号：私173

[平成29年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

南山大学 国際教養学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人南山学園
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 南山大学 総務部総務課

職名・氏名 課長 サトウ アツシ
佐藤 淳

電話番号 052-832-3112

（夜間） 052-832-3111

F A X 052-833-6985

e-mail n-somu@nanzan-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際教養学部

<国際教養学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	21
6. 留意事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	39
《別添資料》	
南山大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会規程	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人南山学園

(2) 大学名

南山大学

(3) 大学の位置

〒466-8673
愛知県名古屋市中昭和区山里町18

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハンス ユーゲン・マルクス) Hans-Jurgen Marx (平成26年4月1日)	(イチセ ヒデアキ) 市瀬 英昭 (平成29年4月1日)	任期満了に伴い平成29年4月1日付で変更(29)
学長	(ミカエル・カルmano) Michael Calmano (平成26年4月1日)	(トリス ヨシフミ) 鳥巢 義文 (平成29年4月1日)	任期満了に伴い平成29年4月1日付で変更(29)
学部長	(サイトウ マモル) 齋藤 衛 (平成29年4月1日)		
学科長等	(モリヤマ ミキヒロ) 森山 幹弘 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際教養学部 国際教養学科 学士 (国際教養学)	文学関係	4年	150人	3年次 5人	610人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 150 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	1.02倍	
志願者数	1,596 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	1,566 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	507 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	154 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.02		-		-		-			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	154 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計	154 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	154 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	- 人	- 人		
			平成31年度	- 人	- 人		
			平成32年度	- 人	- 人		
平成30年度 入学者	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人		- %
			平成31年度	- 人	- 人		
			平成32年度	- 人	- 人		
平成31年度 入学者	- 人	- 人	平成31年度	- 人	- 人		- %
			平成32年度	- 人	- 人		
平成32年度 入学者	- 人	- 人	平成32年度	- 人	- 人		- %
合 計	154 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<国際教養学部 国際教養学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	宗教科目	宗教論	1	①・②・③・④ ④	2			1	1				兼 11 7	教育の充実のためのクラス数増に伴う開講クォーター変更および担当者追加 (29)
		キリスト教概論	2	①	2			1					兼 5	
	体育科目	基礎体育A	1	②	1								兼 18 14	教育の充実のためのクラス数増に伴う担当者追加 (29)
		基礎体育B	1	③	1								兼 18 14	教育の充実のためのクラス数増に伴う担当者追加 (29)
情報科目	情報倫理	1	④ ④	2			2							履修の必要性のため開講クォーターを変更 (29)
選択必修科目	「人間の尊厳」科目	宗教に見る人間の尊厳	2・3・4	①・②・③・④		2							兼 4	
		哲学・倫理学における人間の尊厳	2・3・4	①・②・③・④		2							兼 4	
		思想史に学ぶ人間の尊厳	2・3・4	①・②・③		2							兼 3	
		政治・経済と人間の尊厳	2・3・4	①・②・③・④		2							兼 3 4	兼任教員の退職に伴う変更。科目開講時期までに科目適合教員を補充する予定。(29)
		法と人間の尊厳	2・3・4	①・②・③・④		2							兼 5	
		性と生命における人間の尊厳	2・3・4	①・②・③・④		2							兼 2 4	兼任教員の退職および死亡に伴う変更。科目開講時期までに科目適合教員を補充する予定。(29)
		教育・文化における人間の尊厳	2・3・4	③・④		2		1					兼 1	
		民族問題と人間の尊厳	2・3・4	①・②・③・④		2							兼 3 4	兼任教員の退職に伴う変更。科目開講時期までに科目適合教員を補充する予定。(29)
基盤科目	哲学A	1・2・3・4	① ①・②・③		2							兼 3	履修の必要性のため開講クォーターを変更 (29)	
	哲学B	1・2・3・4	③・④		2							兼 2		
	文学A	1・2・3・4	①・④ ②		2							兼 2 4	教育の充実のためのクラス数増に伴う担当者追加、履修の必要性のため開講クォーターを変更 (29)	
	文学B	1・2・3・4	② ④		2							兼 1	履修の必要性のため開講クォーターを変更 (29)	
	美術A	1・2・3・4	④		2							兼 1		
	美術B	1・2・3・4	③ ②		2							兼 1	履修の必要性のため開講クォーターを変更 (29)	
	音楽A	1・2・3・4	①・③		2							兼 1		
	音楽B	1・2・3・4	①・③ ②・④		2							兼 1	履修の必要性のため開講クォーターを変更 (29)	
	倫理学	1・2・3・4	③ ④		2							兼 1	履修の必要性のため開講クォーターを変更 (29)	
	考古学A	1・2・3・4	② ③		2							兼 1	履修の必要性のため開講クォーターを変更 (29)	
	考古学B	1・2・3・4	①		2							兼 1		
	日本史A	1・2・3・4	③ ①・②		2							兼 2	履修の必要性のため開講クォーターを変更 (29)	
	日本史B	1・2・3・4	②・④ ③・④		2							兼 2 4	教育の充実のためのクラス数増に伴う担当者追加、履修の必要性のため開講クォーターを変更 (29)	
	東洋史A	1・2・3・4	①		2							兼 1		
	東洋史B	1・2・3・4	③		2							兼 1		
	西洋史A	1・2・3・4	④		2							兼 1		
	西洋史B	1・2・3・4	② ④		2							兼 1	履修の必要性のため開講クォーターを変更 (29)	
	人文地理学	1・2・3・4	②・④ ①・④		2							兼 2	履修の必要性のため開講クォーターを変更 (29)	
	自然地理学	1・2・3・4	①・③ ②・④		2							兼 1	履修の必要性のため開講クォーターを変更 (29)	
	地誌概論	1・2・3・4	①・③ ②・④		2							兼 2	履修の必要性のため開講クォーターを変更 (29)	
	世界史	1・2・3・4	③		2							兼 1		
	文化人類学A	1・2・3・4	①		2			1						

	文化人類学B	1・2・3・4	④ ②		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	南山大学の軌跡	1・2・3・4	①		2		1					
	法学A	1・2・3・4	③・④ ①・②		2						兼2	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	法学B	1・2・3・4	② ①		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	日本国憲法	1・2・3・4	①・② ①		2						兼2 +	教育の充実のためのクラス数増に伴う担当者追加、開講クォーター変更(29)
	政治学A	1・2・3・4	①・③ ①・②		2						兼2	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	政治学B	1・2・3・4	③ ③・④		2		1				兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	社会学A	1・2・3・4	④ ①・②		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	社会学B	1・2・3・4	①・③・④		2						兼3 2	教育の充実のためのクラス数増に伴う担当者追加(29)
	経済学A	1・2・3・4	①・④ ①		2						兼3	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	経済学B	1・2・3・4	③		2						兼1	
	物理学A	1・2・3・4	① ②		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	物理学B	1・2・3・4	③ ④		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	生命自然史	1・2・3・4	①・③		2						兼1	
	生命科学	1・2・3・4	① ④		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	化学	1・2・3・4	①・③ ②・④		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	地球科学A	1・2・3・4	①・④ ①・②		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	地球科学B	1・2・3・4	③・④		2						兼1	
	スポーツ科学論	1・2・3・4	④ ①		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	健康科学論	1・2・3・4	①・③		2						兼2	
	スポーツ科学演習A	1・2・3・4	④ ②		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	スポーツ科学演習B	1・2・3・4	③ ①		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	数学A	1・2・3・4	①		2						兼1	
	数学B	1・2・3・4	③		2						兼1	
	心理学A	1・2・3・4	①・②・③・④ ①・②		2						兼5	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	心理学B	1・2・3・4	②・④ ②・④		2						兼2	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	科学技術論A	1・2・3・4	③ ①		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	科学技術論B	1・2・3・4	④ ③		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
学 際 科 目	文化の比較	1.2.3.4	②・③・④		2						兼3	
	異文化との接触	1.2.3.4	①・③・④ ①・②・③・④		2						兼3	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	生命と倫理問題	1.2.3.4	④ ③		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	芸術をめぐって	1.2.3.4	②・③・④ ①・②・③・④		2						兼2	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	文学をめぐって	1.2.3.4	④ ②		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	思想・文化をめぐって	1.2.3.4	②・③ ④		2						兼2 +	教育の充実のためのクラス数増に伴う担当者追加、開講クォーター変更(29)
	日本との出会い	1.2.3.4	①・④ ①・②・④		2						兼3	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	アジアとの出会い	1.2.3.4	①・③ ②・③・④		2						兼2	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	イスラムとの出会い	1.2.3.4	③・④ ①・②		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	ヨーロッパとの出会い	1.2.3.4	①・②・④ ①・②・③		2						兼4 3	教育の充実のためのクラス数増に伴う担当者追加、履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	南北アメリカとの出会い	1.2.3.4	④ ①・③		2						兼1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)
	歴史の諸相	1.2.3.4	②・③ ①・③		2						兼2	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)

		異文化の理解	1.2.3.4 ①・④ ②・③・④	2						兼 3	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		生命と法律問題	1.2.3.4 ①・③ ②・④	2						兼 1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		プライバシーと倫理	1.2.3.4 ④	2						兼 1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		社会の諸相	1.2.3.4 ①・②・④ ①・②・③・④	2						兼 5	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		人権をめぐる	1.2.3.4 ①・③ ②・④	2						兼 2	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		政治・経済の諸相	1.2.3.4 ①・② ②・③・④	2						兼 3	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		環境と倫理問題	1.2.3.4 ①・③ ①・②・④	2						兼 2	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		人間と環境	1.2.3.4 ②・③・④ ①・③・④	2						兼 3	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		生活環境と物質	1.2.3.4 ②・④ ③	2						兼 1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		自然環境と生物	1.2.3.4 ②	2						兼 1				
		生命観と環境観の変遷	1.2.3.4 ①・② ①	2						兼 1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		社会システムと環境	1.2.3.4 ①・③ ①・②・③・④	2						兼 3	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		こころとは	1.2.3.4 ③ ①	2						兼 1	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		ことばとは	1.2.3.4 ①・②・③・④	2	1					兼 4				
		知識の探求	1.2.3.4 ①・②・③ ①・②・③・④	2	1					兼 3	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		人間と機械	1.2.3.4 ①・②・③ ①・②・④	2						兼 3 2	教育の充実のためのクラス数増に伴う担当者追加、履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		文化と情報	1.2.3.4 ①・②・④	2	1					兼 1				
		情報社会の構造	1.2.3.4 ①・② ①・②・③	2						兼 2	履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
		情報を読む	1.2.3.4 ①・②・③ ①・②	2						兼 4 3	教育の充実のためのクラス数増に伴う担当者追加、履修の必要性のため開講クォーター変更(29)			
		科学の諸相	1.2.3.4 ②・③・④ ①・③・④	2						兼 3 2	教育の充実のためのクラス数増に伴う担当者追加、履修の必要性のため開講クォーターを変更(29)			
選択科目	英語展開科目	英語ワークショップA	2・3・4 ①	1						兼 1				
		英語ワークショップB	2・3・4 ②	1						兼 1				
		英語ワークショップC	2・3・4 ③	1						兼 1				
		英語ワークショップD	2・3・4 ④	1						兼 1				
		英語 I 翻訳	2・3・4 ①	1						兼 1				
		英語 II 翻訳	2・3・4 ②	1						兼 1				
		英語 I 通訳	2・3・4 ③	1						兼 1				
		英語 II 通訳	2・3・4 ④	1						兼 1				
		実践英語 I A	2・3・4 ①	1						兼 1				
		実践英語 I B	2・3・4 ③	1						兼 1				
		実践英語 I C	2・3・4 ③	1						兼 1				
		実践英語 II A	2・3・4 ②	1						兼 1				
		実践英語 II B	2・3・4 ④	1						兼 1				
		実践英語 II C	2・3・4 ④	1						兼 1				
		英語 I プレゼンテーション	2・3・4 ①	1							兼 0 +	兼任教員の退職に伴う変更。科目開講時期までに科目適合教員を補充する予定。(29)		
		英語 II プレゼンテーション	2・3・4 ②	1							兼 0 +	兼任教員の退職に伴う変更。科目開講時期までに科目適合教員を補充する予定。(29)		
		英語イメージンA	2・3・4 ②	2							兼 1	集中		
		英語イメージンB	2・3・4 ②	2							兼 1	集中		
		実践知形成科目	キャリア教育科目	インターンシップ研修 I	2・3・4 ②・④	1						兼 1		
				インターンシップ研修 II	2・3・4 ①・③	1						兼 1		
				マスメディア論A(新聞)	1.2.3.4 ③~④	2							兼 1	
				マスメディア論B(放送)	1.2.3.4 ①~②	2							兼 18	オムニバス、共同(一部)
				マスメディア論C(放送)	1.2.3.4 ①~②	2							兼 14	オムニバス、共同(一部)

海外研修科目	短期留学プログラム(春季) A	1・2・3	④		2								兼 2 ↓	集中教育の充実のための担当者の追加(29)	
	短期留学プログラム(春季) B	1・2・3	④		2								兼 2 ↓	集中教育の充実のための担当者の追加(29)	
	短期留学プログラム(夏季) A	1・2・3	②		2								兼 2 ↓	集中教育の充実のための担当者の追加(29)	
	短期留学プログラム(夏季) B	1・2・3	②		2								兼 2 ↓	集中教育の充実のための担当者の追加(29)	
	スポーツ科目	スポーツ実技(個人スポーツ)	2・3・4	①・②・③		1								兼 3	
		スポーツ実技(アウトドアスポーツ)	2・3・4	②・④		1								兼 3	集中
		スポーツ実技(集団スポーツ)	2・3・4	①・②・④		1								兼 3	
		スポーツ実技(健康スポーツ)	2・3・4	②・③・④		1								兼 3	
		スポーツ実技(生涯スポーツ)	2・3・4	①・③・④		1								兼 3	
		スポーツ実技(フィットネス)	2・3・4	①・③・④		1								兼 3	
	外国語科目	必修科目	英語Iオーラルコミュニケーション	1	①	1			1	1				兼 6	
		英語IIオーラルコミュニケーション	1	②	1			1	1				兼 6		
		英語IIIオーラルコミュニケーション	1	③	1			1	1				兼 6		
		英語IVオーラルコミュニケーション	1	④	1			1	1				兼 6		
		英語Iリテラシー	1	①	1			1	1				兼 6		
		英語IIリテラシー	1	②	1			1	1				兼 6		
		英語IIIリテラシー	1	③	1			1/2	1	1			兼 5 4	専任教員の病気による休職に伴う担当者変更(29)	
		英語IVリテラシー	1	④	1			1/2	1	1			兼 5 4	専任教員の病気による休職に伴う担当者変更(29)	
	選択必修科目	フランス語I	2	③		1			1						
		フランス語II	2	④		1			1						
		フランス語III	3	①		1			1						
		ドイツ語I	2	③		1			1						
		ドイツ語II	2	④		1			1						
		ドイツ語III	3	①		1			1						
		スペイン語I	2	③		1		1							
		スペイン語II	2	④		1		1							
スペイン語III		3	①		1		1								
中国語I		2	③		1								兼 1		
中国語II		2	④		1								兼 1		
中国語III		3	①		1								兼 1		
インドネシア語I		2	③		1		1								
インドネシア語II		2	④		1		1								
インドネシア語III		3	①		1		1								
日本語I	1	①~②		3			1								
学教科目	国際教養学基礎科目	技法知の基礎科目	必修科目	学びの技法	1	①	2		2	5	1			※演習	
			ICTリテラシー	1	②	2		2					※演習		
			キャリアデザインI	1	③	2			1				※演習		
			キャリアデザインII	2	③	2			1				※演習		
			Advanced English Communication	2	①	1			1	1			兼 4		
			Advanced English Literacy	2	①	1			1	1			兼 6		
			GLS English I	1	①	1		2	1				兼 5 6	兼任教員が病気のため担当者変更(29)	
			GLS English II	1	②	1		2	1	2			兼 3		
			GLS English III	1	③	1		2	1	2			兼 3		
			GLS English IV	1	④	1		2	2	2			兼 2		
			GLS English V	2	①	1		1	2	2			兼 3		

選択必修科目	GLSフランス語I	2	③		1															兼1	
	GLSフランス語II	2	④		1															兼1	
	GLSフランス語III	3	①		1															兼1	
	GLSドイツ語I	2	③		1															兼1	
	GLSドイツ語II	2	④		1															兼1	
	GLSドイツ語III	3	①		1															兼1	
	GLSスペイン語I	2	③		1															兼1	
	GLSスペイン語II	2	④		1															兼1	
	GLSスペイン語III	3	①		1															兼1	
	GLS中国語I	2	③		1															兼1	
	GLS中国語II	2	④		1															兼1	
	GLS中国語III	3	①		1															兼1	
	GLSインドネシア語I	2	③		1															兼1	
	GLSインドネシア語II	2	④		1															兼1	
	GLSインドネシア語III	3	①		1															兼1	
	GLSアカデミック・ジャパニーズI	1	③		1					1											
	GLSアカデミック・ジャパニーズII	1	④		1					1											
	GLSアカデミック・ジャパニーズIII	2	①		1					1											
	市民的教養の基礎科目	必修科目	国際教養学入門 / GLS Lecture Series	1	①	2				10 +	3 +	1									オムニバス 専任教員の病気による休職に伴う 担当者変更(29)
			国際教養学概論 / Introduction to Global Liberal Studies	1	③	2				1											
		シティズンシップ論A / Citizenship A	1	④	2				2	5	2									※演習、オムニバス	
		多元文化論A / Multiculturalism A	2	①	2				3	4										※演習、オムニバス	
選択必修科目		Citizenship B	2	②		2														兼1 ※演習	
		Multiculturalism B	2	②		2			1											※演習	
学問知の基礎科目	必修科目	創造的・批判的思考 / Creative and Critical Thinking	1	②	2				2	5	1									※演習	
	選択科目	文化論 / Cultural Studies	2・3・4	①		2			1											※演習	
		言語論 / Linguistics	2・3・4	①		2														兼1 ※演習	
		文学 / Literature	2・3・4	④		2														兼1 ※演習	
		メディア論 / Media Studies	2・3・4	②		2														兼1 ※演習	
		民族学 / Ethnology	2・3・4	③		2					2									※演習、オムニバス	
		歴史学 / History	2・3・4	③		2				1										※演習	
		情報技術史 / History of Information Technology	2・3・4	④		2				2										※演習、オムニバス	
		政治学 / Political Science	2・3・4	③		2				1										※演習	
		国際関係論 / International Relations	2・3・4	④		2														兼1 ※演習	
		国際経済学 / International Economics	2・3・4	①		2						1								※演習	
		経済学 / Economics	2・3・4	①		2														兼1 ※演習	
		国際協力論 / International Cooperation	2・3・4	②		2				1										※演習	
		法学 / Legal Studies	2・3・4	①		2														兼1 ※演習	
		会計学 / Accounting	2・3・4	②		2														兼1 ※演習	
		経営学 / Management Studies	2・3・4	④		2														兼1 ※演習	
		統計分析 / Statistical Analysis	2・3・4	③		2														兼1 ※演習	

グローバル・スタディーズ科目	必修科目	グローバル・スタディーズ概論A / Introduction to Global Studies A	1	④	2			1												※演習		
		グローバル化と文化・文学 / Globalization, Culture, and Literature	3	①	2			2													※演習、オムニバス	
		グローバル化とメディア / Globalization and Media	3	③	2				1												※演習	
		グローバル化と情報技術 / Globalization and Information Technology	3	③	2			2													※演習、オムニバス	
		グローバル化と社会 / Globalization and Society	3	①	2						1										※演習	
		グローバル化と民族・宗教 / Globalization, Ethnicity, and Religion	3	④	2				1	1											※演習、オムニバス	
基幹科目	必修科目	Introduction to Global Studies B	2	②		2													兼1	※演習		
		グローバル化と言語 / Globalization and Language	3・4	②		2		1													※演習	
		グローバル化と国際関係 / Globalization and International Relations	3・4	①		2														兼1	※演習	
		グローバル化と開発経済 / Globalization and Development Economics	3・4	③		2		1													※演習	
		グローバル化と国際協力 / Globalization and International Cooperation	3・4	④		2														兼1	※演習	
		Special Topics: Global Studies A (Linguistics)	3・4	②		2		1												兼1	※演習	
		Special Topics: Global Studies B (Cultural Studies)	3・4	③		2		1													※演習	
		Special Topics: Global Studies C (Religious and Social Studies)	3・4	④		2		1	1												※演習	
		Special Topics: Global Studies D (Communication Studies)	3・4	①		2		1													※演習	
		Special Topics: Global Studies E (Political Studies)	3・4	③		2		1													※演習	
		Special Topics: Global Studies F (Economic Studies)	3・4	①		2			1												※演習	
サステイナビリティ・スタディーズ科目	必修科目	サステイナビリティ・スタディーズ概論A / Introduction to Sustainability Studies A	1	④	2			1			1									※演習、オムニバス		
		Introduction to Sustainability Studies B	2	②	2															兼1	※演習	
		サステイナビリティと環境倫理 / Sustainability and Environmental Ethics	3	①	2			1												兼1	※演習、オムニバス	
		サステイナビリティと民族・文化 / Sustainability, Ethnicity, and Culture	3	③	2				2												※演習、オムニバス	
	基幹科目	必修科目	サステイナビリティと地域社会 / Sustainability and Local Communities	3・4	①		2		1												※演習	
			サステイナビリティと生態系 / Sustainability and Ecosystem	3・4	③		2		1												※演習	
			サステイナビリティと開発 / Sustainability and Development	3・4	①		2		1												※演習	
			サステイナビリティと国際問題 / Sustainability and International Issues	3・4	③		2			1											※演習	
			サステイナビリティとエネルギー問題 / Sustainability and Energy Issues	3・4	②		2				1											※演習
			サステイナビリティと国際経済 / Sustainability and International Economics	3・4	③		2			1												※演習

目サ ステ イナ ビリ テイ ・ス タデ ィー ズ科	選択 科目	Special Topics: Sustainability Studies A (Linguistics)	3・4	④		2		1						兼1	※演習		
		Special Topics: Sustainability Studies B (Environment and Development Studies)	3・4	②		2		2								※演習	
		Special Topics: Sustainability Studies C (Religious and Social Studies)	3・4	③		2		1	1							※演習	
		Special Topics: Sustainability Studies D (Political and Economic Studies)	3・4	④		2		1	1							※演習	
演習 科目	必修 科目	演習I	4	①	1			11	6	1							
		アドヴァンスト演習I	4	③	1			11	6	1							
		アドヴァンスト演習II	4	④	1			11	6	1							
		卒業論文研究I	4	③	1			11	6	1							
		卒業論文研究II	4	④	1			11	6	1							
	選択 必修 科目	基礎演習A	3	①		1		5	3	1							
		基礎演習B	3	②		1		4	6	2							
		基礎演習C	3	③		1		2	3	2							
		基礎演習D	3	④		1		3	3	1							
		PBL演習A (環境)	3	②		1		1		1							
PBL演習B (文化)		3	③		1		4										
PBL演習C (社会)		3	④		1		4	2									
演習II	4	②		1		11	6	1									
目形実 成践 科知		GLSフィールドワーク / GLS Fieldwork	3・4	②		3		4	4								

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
44	205	0	249	44	205	0	249	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{249} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用地196㎡ 196㎡(H27.4.1~ H30.3.31) 南山大学短期大学部(必 要面積1,500㎡)と共用 (収容定員:150人)			
	校舎敷地	0㎡	100,202㎡	13,358㎡	113,560㎡				
	運動場用地	196㎡	29,424㎡	3,066㎡	32,686㎡				
	小 計	196㎡	129,626㎡	16,424㎡	146,246㎡				
	そ の 他	0㎡	9,283㎡	1,688㎡	10,971㎡				
	合 計	196㎡	138,909㎡	18,112㎡	157,217㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	南山大学短期大学部(必 要面積1,700㎡)と共用 (収容定員:150人) 校舎面積減少は0棟および新食堂棟 の登記に伴うもの。専用・共用 等の面積変更は国際教養学部 の教員研究室やライティングセン ターを兼ね備えたGLSラーニン グ・コモンズ等をR棟から0棟に 変更したことによるもの。(29)				
	23,827㎡ 24,083㎡ (24,032㎡) (-24,083㎡)	88,821㎡ 89,023㎡ (88,616㎡) (-89,023㎡)	2,833㎡ 2,699㎡ (2,833㎡) (-2,699㎡)	115,481㎡ 115,805㎡ (115,481㎡) (-115,805㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 0棟の設計変更、および外国語教 育センター等を開設するために 既存の教室を改修したことによ る室数変更。授業を行うための 教室数は十分確保しているため 支障はない。また、情報処理施 設の補助職員増は教育環境充実 のためにTAを増員したことによ る。(29)			
	181室 217室	40室 28室	27室 31室	14室 13室 62人 (補助職員 15人)	5室 2人 (補助職員 3人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		23 室			
	国際教養学部 国際教養学科								
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分と合わせた数 図書 752,900冊〔357,724冊〕 860,414冊〔389,902冊〕 (752,900冊〔357,724冊〕) (828,858冊〔381,003冊〕) 学術雑誌 16,496種〔6,653種〕 17,318種〔6,756種〕 (16,496種〔6,653種〕) (17,120種〔6,762種〕) 電子ジャーナル 51,613種〔50,941種〕 30,493種〔29,829種〕 (51,613種〔50,941種〕) (29,609種〔28,952種〕) 視聴覚資料 10,243点 14,589点 (10,243点) (13,725点) 機械・器具・標本は大学全体の数値 図書および視聴覚資料が大幅に 減少しているのは、キャンパス 統合により大学全体として図書 約54,000冊、視聴覚資料約4,000 点の除籍を実施した特殊事情に よる。(29)	
	国際教養学部 国際教養学科	72,756〔29,797〕 85,103〔36,259〕	1,482〔442〕 1,538〔440〕	1,816〔1,814〕 1,665〔1,660〕	53 983	2,358 2,353	2		
	計	(65,502〔24,898〕) (75,353〔29,959〕)	(1,467〔442〕) (1,514〔446〕)	(1,763〔1,761〕) (1,616〔1,611〕)	(44) (968)	(2,358) (2,353)	(2)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数						
	10,303㎡	813席 831席	1,007,611冊 1,004,333冊	座席数減は閲覧機の入替による。 収納可能冊数の増加は保存 庫への書架増設による。(29)					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	12,703㎡ 12,728㎡	テニスコート5面 体育センター(メインアリーナ、卓球場、 剣道場、柔道場、室内温水プール、ト レーニングルーム等)							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費、図書購入費は大学 全体 図書費には電子ジャーナル・デー ブスの整備費(運用も含む)を含 む 教育研究充実のため図書購入費 を増額。(29)	
	教員1人当り研究費等	650千円	650千円	図書購入費	251,249千円 247,736千円	253,325千円 247,736千円	253,325千円 247,736千円		
	共同研究費等	22,370千円	22,370千円	設備購入費	889千円	889千円	3,553千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		入学金300千円を含む
	1,228千円	928千円	928千円	928千円	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要	資産運用および手数料収入等で充当する								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	南山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部						1.10		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
キリスト教学科	4	20	—	80	学士(人文学)	1.11	昭和37年度		
人類文化学科	4	110	—	440	学士(人文学)	1.13	平成12年度		
心理人間学科	4	110	3年次5	450	学士(人文学)	1.11	平成12年度		
日本文化学科	4	100	—	400	学士(人文学)	1.05	平成12年度		
外国語学部						1.03		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
英米学科	4	150	3年次9	723	学士(外国研究)	0.99	昭和38年度		平成29年度入学定員減185人→150人(△35人)
スペイン・ラテンアメリカ学科	4	60	—	240	学士(外国研究)	1.05	昭和38年度		
フランス学科	4	60	—	210	学士(外国研究)	1.09	平成12年度		平成29年度入学定員増50人→60人(10人)
ドイツ学科	4	60	—	210	学士(外国研究)	1.02	平成12年度		平成29年度入学定員増50人→60人(10人)
アジア学科	4	60	3年次3	216	学士(外国研究)	1.13	平成12年度		平成29年度入学定員増50人→60人(10人)
経済学部						1.12		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
経済学科	4	275	—	1,070	学士(経済学)	1.12	昭和35年度		平成29年度入学定員増265人→275人(10人)
経営学部						1.10		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
経営学科	4	270	—	1,005	学士(経営学)	1.10	昭和43年度		平成29年度入学定員増245人→270人(25人)

法学部						1.11		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
法律学科	4	275	—	1,100	学士(法学)	1.11	昭和52年度		
総合政策学部						1.06		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
総合政策学科	4	275	3年次10	1,285	学士(総合政策学)	1.06	平成12年度		平成29年度入学定員減330人→275人(△55人)
理工学部						1.09		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
システム数理学科	4	75	—	300	学士(理工学)	1.04	平成12年度		
ソフトウェア工学科	4	80	—	305	学士(理工学)	1.17	平成21年度		平成29年度入学定員増75人→80人(5人)
機械電子制御工学科	4	80	—	305	学士(理工学)	1.07	平成21年度		平成29年度入学定員増75人→80人(5人)
国際教養学部						1.02		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
国際教養学科	4	150	3年次5	150	学士(国際教養学)	1.02	平成29年度		平成29年度届出設置
大学の名称	南山大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
【博士前期課程・修士課程】	年	人	年次人	人		倍			
人間文化研究科						0.30		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
キリスト教思想専攻	2	8	—	16	修士(キリスト教思想)	0.06	平成16年度		
人類学専攻	2	8	—	16	修士(人類学)	0.43	平成16年度		
教育ファシリテーション専攻	2	10	—	20	修士(教育ファシリテーション)	0.30	平成16年度		
言語科学専攻	2	12	—	24	修士(言語科学)	0.41	平成16年度		

国際地域文化研究科						0.20		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
国際地域文化専攻	2	20	—	40	修士(地域研究)	0.20	平成16年度		
社会科学部研究科						0.54		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
経済学専攻	2	7	—	14	修士(経済学)	0.78	平成26年度		
経営学専攻	2	7	—	14	修士(経営学)	0.28	平成26年度		
総合政策学専攻	2	7	—	14	修士(総合政策学)	0.57	平成26年度		
ビジネス研究科								愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
経営学専攻	2	—	—	—	修士(経営学)	—	昭和47年度		平成26年度より学生募集停止
理工学研究科						0.65		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
システム数理専攻	2	18	—	36	修士(数理科学)	0.52	平成25年度		
ソフトウェア工学専攻	2	18	—	36	修士(ソフトウェア工学)	0.52	平成25年度		
機械電子制御工学専攻	2	18	—	36	修士(制御工学)	0.91	平成25年度		
【博士後期課程】									
人間文化研究科						0.14		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
宗教思想専攻	3	3	—	9	博士(宗教思想)	0.11	平成18年度		

人類学専攻	3	3	—	9	博士(人類学)	0.00	平成18年度		
言語科学専攻	3	4	—	12	博士(言語科学)	0.33	平成18年度		
国際地域文化研究科						0.55		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
国際地域文化専攻	3	3	—	9	博士(地域研究)	0.55	平成23年度		
社会科学研究科						0.22		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
経済学専攻	3	3	—	6	博士(経済学)	0.00	平成28年度		
経営学専攻	3	3	—	6	博士(経営学)	0.33	平成28年度		
総合政策学専攻	3	3	—	6	博士(総合政策学)	0.33	平成28年度		
ビジネス研究科								愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
経営学専攻	3	—	—	—	博士(経営学)	—	昭和49年度		平成28年度より学生募集停止
総合政策研究科								愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
総合政策専攻	3	—	—	—	博士(総合政策)	—	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
理工学研究科						0.27		愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
システム数理専攻	3	2	—	6	博士(数理科学)	0.33	平成27年度		
ソフトウェア工学専攻	3	2	—	6	博士(ソフトウェア工学)	0.33	平成27年度		
機械電子制御工学専攻	3	2	—	6	博士(制御工学)	0.16	平成27年度		

数理情報研究科									愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
数理情報専攻	3	—	—	—	博士(数理情報学)	—	平成16年度			平成27年度より学生募集停止
【専門職学位課程】										
ビジネス研究科									愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
ビジネス専攻	2	—	—	—	ビジネス修士(専門職)	—	平成18年度			平成29年度より学生募集停止
法務研究科						0.34			愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	
法務専攻	3	20	—	70	法務博士(専門職)	0.34	平成16年度			平成28年度入学定員減30人→20人(△10人)
大学の名称	南山大学短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
英語科	年	人	年次人	人	短期大学士(英語)	倍	昭和43年度	愛知県名古屋市昭和区山里町18番地		平成29年度より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<国際教養学部 国際教養学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月日	担当授業科目名	
専	教授 (学部長)	斎藤 衛 (63) (高)	平成29年4月	ことばとは 国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※ 国際教養学概論 / Introduction to Global Liberal Studies Special Topics: Global Studies A (Linguistics) Special Topics: Sustainability Studies A (Linguistics) 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II 基礎演習A 基礎演習D 演習II						
専	教授	永井 英治 (55)	平成29年4月	南山大学の軌跡 知識の探求 文化と情報 歴史学 / History						
専	教授	松永 陸 (63) (高)	平成29年4月	英語IIIリテラシー 英語IVリテラシー Advanced English Literacy GLS English I GLS English II GLS English III GLS English IV 国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※ シティズンシップ論A / Citizenship A ※ グローバル化と言語 / Globalization and Language 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II 基礎演習A 基礎演習B 演習II						
専	教授	山岸 敬和 (44)	平成29年4月	政治学B GLS English V 国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※ 政治学 / Political Science Special Topics: Global Studies E (Political Studies) Special Topics: Sustainability Studies D (Political and Economic Studies) 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II 基礎演習A 基礎演習B 演習II GLSフィールドワーク / GLS Fieldwork						

専	教授	安原 毅 (53)	平成29年4月	スペイン語I スペイン語II スペイン語III 国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※ 多元文化論A / Multiculturalism A ※ グローバル化と開発経済 / Globalization and Development Economics サステイナビリティと開発 / Sustainability and Development Special Topics: Sustainability Studies B (Environment and Development Studies) 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II 基礎演習A 基礎演習D 演習II						
専	教授 (学科長)	森山 幹弘 (56)	平成29年4月	インドネシア語I インドネシア語II インドネシア語III 国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※ グローバル・スタディーズ概論A / Introduction to Global Studies A グローバル化と文化・文学 / Globalization, Culture, and Literature ※ Special Topics: Global Studies B (Cultural Studies) 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II 基礎演習A 基礎演習B 演習II GLSフィールドワーク / GLS Fieldwork						
専	教授	VOLPE, Angelina (57)	平成29年4月	キリスト教概論 教育・文化における人間の尊厳 国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※ 多元文化論A / Multiculturalism A ※ 文化論 / Cultural Studies グローバル化と民族・宗教 / Globalization, Ethnicity, and Religion ※ Special Topics: Global Studies C (Religious and Social Studies) Special Topics: Sustainability Studies C (Religious and Social Studies) 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II PBL演習B (文化) PBL演習C (社会) 演習II GLSフィールドワーク / GLS Fieldwork	専	教授	VOLPE, Angelina (57)	平成29年4月	宗教論	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加 (29)
専	教授	後藤 邦夫 (60)	平成29年4月	情報倫理 ICTリテラシー 国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※ 情報技術史 / History of Information Technology ※ グローバル化と情報技術 / Globalization and Information Technology ※ 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II 基礎演習C 基礎演習D 演習II						

専	教授	吉田 敦 (48)	平成29年4月	情報倫理 ICTリテラシー 国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※ 情報技術史 / History of Information Technology ※ グローバル化と情報技術 / Globalization and Information Technology ※ 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II 基礎演習C PBL演習C (社会) 演習II						
専	教授	森泉 哲 (45)	平成29年4月	GLS English I GLS English II GLS English III GLS English IV 国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※ 多元文化論A / Multiculturalism A ※ Multiculturalism B グローバル化と文化・文学 / Globalization, Culture, and Literature ※ Special Topics: Global Studies D (Communication Studies) 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II 基礎演習B PBL演習B (文化) 演習II GLSフィールドワーク / GLS Fieldwork						
専	教授	関口 知子 (53)	平成29年4月	英語IIIリテラシー 英語IVリテラシー 学びの技法 国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※ シティズンシップ論A / Citizenship A ※ 創造的・批判的思考 / Creative and Critical Thinking 国際協力論 / International Cooperation サステイナビリティと地域社会 / Sustainability and Local Communities 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II PBL演習B (文化) PBL演習C (社会) 演習II	兼担	講師	CALANTAS, Teresita (63)	平成29年9月	英語IIIリテラシー 英語IVリテラシー	病気による休職のため担当者変更。関口教授復帰までの間は左記のとおり科目を担当するが、授業には支障はない。(29)
					専	教授	安原 毅 (53)	平成29年4月	学びの技法 創造的・批判的思考 / Creative and Critical Thinking	
					専	准教授	MUNSI, Roger Vanzila (50)	平成29年4月	国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※	
					専	教授	山岸 敬和 (44)	平成29年4月	シティズンシップ論A / Citizenship A ※	
専	教授	神崎 宣次 (44)	平成29年4月	学びの技法 国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※ 創造的・批判的思考 / Creative and Critical Thinking サステイナビリティ・スタディーズ概論A / Introduction to Sustainability Studies A ※ サステイナビリティと環境倫理 / Sustainability and Environmental Ethics ※ サステイナビリティと生態系 / Sustainability and Ecosystem Special Topics: Sustainability Studies B (Environment and Development Studies) 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II PBL演習A (環境) PBL演習B (文化) PBL演習C (社会) 演習II						

専	准教授	蔵本 能介 (37)	平成29年4月	文化人類学A 学びの技法 シティズンシップ論A / Citizenship A ※ 多元文化論A / Multiculturalism A ※ 創造的・批判的思考 / Creative and Critical Thinking 民族学 / Ethnology ※ サステイナビリティと民族・文化 / Sustainability, Ethnicity, and Culture ※ 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II 基礎演習A 基礎演習B PBL演習C (社会) 演習II	専	准教授	吉田 早悠里 (35)	平成29年4月	文化人類学A 学びの技法 シティズンシップ論A / Citizenship A ※ 多元文化論A / Multiculturalism A ※ 創造的・批判的思考 / Creative and Critical Thinking 民族学 / Ethnology ※ サステイナビリティと民族・文化 / Sustainability, Ethnicity, and Culture ※ 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II 基礎演習A 基礎演習B PBL演習C (社会) 演習II	平成29年3月蔵本能介准教授就任辞退のため、後任として同専任教員の担当予定科目に適合する専門性を有する吉田早悠里に担当者変更(29)
専	准教授	MUNSI, Roger Vanzila (49)	平成29年4月	宗教論 多元文化論A / Multiculturalism A ※ 民族学 / Ethnology ※ グローバル化と民族・宗教 / Globalization, Ethnicity, and Religion ※ サステイナビリティと民族・文化 / Sustainability, Ethnicity, and Culture ※ 基礎演習A 基礎演習C						
専	准教授	鹿野 緑 (61)	平成29年4月	英語Iリテラシー 英語IIリテラシー 英語IIIリテラシー 英語IVリテラシー Advanced English Literacy GLS English V 国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※ Special Topics: Global Studies C (Religious and Social Studies) Special Topics: Sustainability Studies C (Religious and Social Studies) 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II 基礎演習B 基礎演習D 演習II GLSフィールドワーク / GLS Fieldwork						
専	准教授	YARDLEY, Gabriel (56)	平成29年4月	英語Iオーラルコミュニケーション 英語IIオーラルコミュニケーション 英語IIIオーラルコミュニケーション 英語IVオーラルコミュニケーション Advanced English Communication GLS English II GLS English III GLS English IV GLS English V シティズンシップ論A / Citizenship A ※ 基礎演習C 基礎演習D						

専	准教授	平岩 恵里子 (60)	平成29年4月	<p>学びの技法</p> <p>キャリアデザインI</p> <p>キャリアデザインII</p> <p>GLS English IV</p> <p>創造的・批判的思考 / Creative and Critical Thinking</p> <p>国際経済学 / International Economics</p> <p>Special Topics: Global Studies F (Economic Studies)</p> <p>サステナビリティと国際経済 / Sustainability and International Economics</p> <p>Special Topics: Sustainability Studies D (Political and Economic Studies)</p> <p>演習I</p> <p>アドヴァンスト演習I</p> <p>アドヴァンスト演習II</p> <p>卒業論文研究I</p> <p>卒業論文研究II</p> <p>基礎演習A</p> <p>基礎演習B</p> <p>演習II</p> <p>GLSフィールドワーク / GLS Fieldwork</p>					
専	准教授	大竹 弘二 (42)	平成29年4月	<p>ドイツ語I</p> <p>ドイツ語II</p> <p>ドイツ語III</p> <p>学びの技法</p> <p>国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※</p> <p>シティズンシップ論A / Citizenship A ※</p> <p>多元文化論A / Multiculturalism A ※</p> <p>創造的・批判的思考 / Creative and Critical Thinking</p> <p>サステナビリティと国際問題 / Sustainability and International Issues</p> <p>演習I</p> <p>アドヴァンスト演習I</p> <p>アドヴァンスト演習II</p> <p>卒業論文研究I</p> <p>卒業論文研究II</p> <p>基礎演習B</p> <p>基礎演習D</p> <p>演習II</p> <p>GLSフィールドワーク / GLS Fieldwork</p>					
専	准教授	北村 雅則 (43)	平成29年4月	<p>日本語I</p> <p>学びの技法</p> <p>GLSアカデミック・ジャパニーズI</p> <p>GLSアカデミック・ジャパニーズII</p> <p>GLSアカデミック・ジャパニーズIII</p> <p>シティズンシップ論A / Citizenship A ※</p> <p>創造的・批判的思考 / Creative and Critical Thinking</p> <p>演習I</p> <p>アドヴァンスト演習I</p> <p>アドヴァンスト演習II</p> <p>卒業論文研究I</p> <p>卒業論文研究II</p> <p>基礎演習B</p> <p>PBL演習C (社会)</p> <p>演習II</p>					
専	准教授	中村 督 (36)	平成29年4月	<p>フランス語I</p> <p>フランス語II</p> <p>フランス語III</p> <p>学びの技法</p> <p>シティズンシップ論A / Citizenship A ※</p> <p>多元文化論A / Multiculturalism A ※</p> <p>創造的・批判的思考 / Creative and Critical Thinking</p> <p>グローバル化とメディア / Globalization and Media</p> <p>演習I</p> <p>アドヴァンスト演習I</p> <p>アドヴァンスト演習II</p> <p>卒業論文研究I</p> <p>卒業論文研究II</p> <p>基礎演習B</p> <p>基礎演習C</p> <p>演習II</p> <p>GLSフィールドワーク / GLS Fieldwork</p>					

専	講師	籠橋 一輝 (36)	平成29年4月	学びの技法 シティズンシップ論A / Citizenship A ※ 創造的・批判的思考 / Creative and Critical Thinking グローバル化と社会 / Globalization and Society サステイナビリティ・スタディーズ概論A / Introduction to Sustainability Studies A ※ サステイナビリティとエネルギー問題 / Sustainability and Energy Issues 演習I アドヴァンスト演習I アドヴァンスト演習II 卒業論文研究I 卒業論文研究II 基礎演習A 基礎演習C PBL演習A (環境) 演習II						
専	講師	DEACON, Bradley (48)	平成29年4月	英語Iオーラルコミュニケーション 英語IIオーラルコミュニケーション 英語IIIオーラルコミュニケーション 英語IVオーラルコミュニケーション 英語IIIリテラシー 英語IVリテラシー Advanced English Communication GLS English II GLS English III GLS English IV GLS English V シティズンシップ論A / Citizenship A ※ 基礎演習B 基礎演習D						
専	講師	MILES, Richard (43)	平成29年4月	英語Iリテラシー 英語IIリテラシー GLS English II GLS English III GLS English IV GLS English V 国際教養学入門 / GLS Lecture Series ※ 基礎演習B 基礎演習C						
兼担	教授	濱田 琢司 (44)	平成29年4月	人文地理学	兼担	教授	濱田 琢司 (44)	平成29年11月	人文地理学	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	教授	山田 望 (58)	平成30年4月	宗教に見る人間の尊厳						
兼担	教授	中路 恭平 (62)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B スポーツ科学演習A スポーツ実技(アウトドアスポーツ) スポーツ実技(集団スポーツ) スポーツ実技(生涯スポーツ)						
兼担	教授	谷口 佳津宏 (59)	平成29年4月	哲学・倫理学における人間の尊厳 哲学A 哲学B 倫理学						
兼担	教授	上田 薫 (59)	平成30年4月	政治・経済と人間の尊厳						
兼担	教授	青柳 宏 (59)	平成29年4月	ことばとは						
兼担	教授	阪本 俊生 (58)	平成29年4月	社会学B プライバシーと倫理						
兼担	教授	田中 実 (57)	平成29年4月	法学B	兼担	教授	田中 実 (57)	平成29年6月	法学B	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	教授	宮元 忠敏 (59)	平成29年4月	数学A 数学B 情報を読む						
兼担	教授	松田 眞一 (54)	平成29年4月	情報を読む	兼担	教授	松田 眞一 (54)	平成29年6月	情報を読む	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)

兼担	教授	沢登 文治 (56)	平成30年4月	法と人間の尊厳						
兼担	教授	林 尚志 (54)	平成29年4月	経済学A	兼担	教授	林 尚志 (54)	平成29年11月	経済学A	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	教授	薫 祥哲 (58)	平成29年4月	社会システムと環境						
兼担	教授	MUNCADA, Felipe (62)	平成30年4月	民族問題と人間の尊厳			後任未定		民族問題と人間の尊厳	修進会からの派遣が中止となったことに伴い、平成29年3月で退職。開講時期までに科目適合教員を補充する予定。(29)
兼担	教授	原田 (西園) 直枝 (52)	平成29年9月	文学A	兼担	教授	原田 (西園) 直枝 (52)	平成29年11月	文学A	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	教授	浦上 昌則 (49)	平成29年4月	心理学A	兼担	教授	浦上 昌則 (49)	平成29年11月	心理学A	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	教授	辻本 裕成 (52)	平成29年4月	文学B 日本との出会い	兼担	教授	辻本 裕成 (52)	平成29年6月	文学B 日本との出会い	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	教授	奥山 倫明 (54)	平成29年11月	宗教論	兼担	教授	TRUFAS, Ileana (67)	平成29年4月	宗教論	時間割編成の都合により担当者変更(29)
兼担	教授	青山 幹哉 (61)	平成29年4月	日本史A 日本史B	兼担	教授	青山 幹哉 (61)	平成29年9月	日本史A 日本史B	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	教授	佐々木 (塩谷) 美裕 (49)	平成29年4月	情報を読む						
兼担	教授	川島 正樹 (61)	平成29年4月	歴史の諸相 人権をめぐって						
兼担	教授	川浦 佐知子 (56)	平成29年4月	知識の探求						
兼担	教授	久村 恵子 (50)	平成29年4月	社会の諸相	兼担	教授	久村 恵子 (50)	平成29年11月	社会の諸相	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	教授	石原 美奈子 (50)	平成29年4月	文化人類学B	兼担	教授	坂井 信三 (65)	平成29年11月	文化人類学B	時間割編成の都合により担当者変更(29)
				イスラムとの出会い	兼担	教授	石原 美奈子 (50)	平成29年9月	イスラムとの出会い	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	教授	真野 倫平 (51)	平成29年4月	世界史	兼担	教授	SZIPPL, Richard (66)	平成29年9月	世界史	時間割編成の都合により担当者変更(29)
				ヨーロッパとの出会い						
兼担	教授	POTTER, David M (55)	平成29年4月	政治学A	兼担	教授	POTTER, David M (55)	平成29年9月	政治学A	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	教授	藤本 潔 (56)	平成29年4月	人間と環境	兼担	教授	藤本 潔 (56)	平成29年6月	人間と環境	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	教授	西脇 純 (53)	平成29年11月	宗教論 キリスト教概論	兼担	教授	西脇 純 (53)	平成29年6月	宗教論 キリスト教概論	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	教授	井上 洋 (60)	平成30年4月	政治・経済と人間の尊厳						
兼担	教授	井上 淳 (57)	平成30年4月	キリスト教概論						
兼担	教授	岸 智子 (59)	平成29年4月	経済学A	兼担	教授	岸 智子 (59)	平成29年9月	経済学A	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
				経済学B		経済学B				
兼担	教授	宇田 光 (60)	平成29年4月	心理学A	兼担	教授	宇田 光 (60)	平成29年6月	心理学A	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	教授	西脇 良 (53)	平成29年11月	宗教論	兼担	准教授	RAJCANI, Jakub (33)	平成29年9月	宗教論	時間割編成の都合により担当者変更(29)
兼担	教授	寶多 康弘 (44)	平成29年4月	経済学A						
兼担	教授	BAYERLEIN, Oliver (57)	平成29年6月	文化の比較						
兼担	教授	林 順子 (51)	平成29年4月	日本史A 政治・経済の諸相						
兼担	教授	三好 千春 (52)	平成29年11月	宗教論	兼担	教授	三好 千春 (52)	平成29年9月	宗教論	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	教授	豊島 (水野) 明子 (48)	平成30年4月	法と人間の尊厳						
兼担	教授	奥村 康行 (61)	平成30年4月	インターンシップ研修I インターンシップ研修II						
兼担	教授	渡部 森哉 (44)	平成29年4月	考古学A 考古学B マスメディア論C (放送) ※	兼担	教授	大塚 達明 (65)	平成29年6月	考古学A	時間割編成の都合により担当者変更(29)

兼担	教授	星野 昌裕 (48)	平成29年6月	短期留学プログラム(春季)A 短期留学プログラム(春季)B 短期留学プログラム(夏季)A 短期留学プログラム(夏季)B							
兼担	教授	菅原 真 (48)	平成29年4月	日本国憲法 人権をめぐる	兼担	講師	三上 佳佑 (28)	平成29年6月	人権をめぐる		時間割編成の都合により担当者変更(29)
兼担	教授	三浦 英俊 (49)	平成29年4月	文化と情報	兼担	教授	三浦 英俊 (49)	平成29年11月	文化と情報		科目担当調整により就任時期変更(29)
兼担	教授	上村 直樹 (61)	平成29年4月	南北アメリカとの出会い 国際関係論 / International Relations グローバル化と国際関係 / Globalization and International Relations	兼担	教授	上村 直樹 (61)	平成29年11月	南北アメリカとの出会い 国際関係論 / International Relations グローバル化と国際関係 / Globalization and International Relations		履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更(29)
兼担	教授	坂中 正義 (47)	平成30年9月	教育・文化における人間の尊厳							
兼担	教授	川北 眞紀子 (53)	平成29年6月	政治・経済の諸相							
兼担	教授	金網 基志 (55)	平成29年6月	政治・経済の諸相							
兼担	教授	湯本 祐司 (54)	平成29年4月	マスメディア論B(放送) ※ 経営学 / Management Studies							
兼担	教授	村杉(斎藤) 恵子 (57)	平成30年4月	言語論 / Linguistics Special Topics: Global Studies A (Linguistics) Special Topics: Sustainability Studies A (Linguistics)							
兼担	教授	山田 哲也 (53)	平成31年11月	グローバル化と国際協力 / Globalization and International Cooperation							
兼担	教授	BREMER, Marc (62)	平成30年6月	Introduction to Sustainability Studies B							
兼担	教授	安田 忍 (53)	平成30年6月	会計学 / Accounting							
兼担	教授	竹澤 直哉 (50)	平成30年9月	統計分析 / Statistical Analysis							
兼担	教授	奥田 太郎 (44)	平成29年9月	哲学・倫理学における人間の尊厳 生命と倫理問題 サステイナビリティと環境倫理 / Sustainability and Environmental Ethics ※	兼担	教授	奥田 太郎 (44)	平成29年11月	哲学・倫理学における人間の尊厳 生命と倫理問題 サステイナビリティと環境倫理 / Sustainability and Environmental Ethics ※		履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更(29)
兼担	教授	鈴木 貴之 (43)	平成29年4月	性と生命における人間の尊厳			後任未定		性と生命における人間の尊厳		自己都合により平成29年3月で退職することになったため。開講時期までに科目適合教員を補充する予定。(29)
				科学技術論A	兼任	講師	鈴木 貴之 (43)	平成29年9月	科学技術論A	平成29年3月退職に伴う職位、就任時期の変更(29)	
				科学技術論B	兼担	教授	横山 輝雄 (65)	平成29年4月	科学技術論B	平成29年3月退職に伴う担当者変更(29)	
				科学の諸相	兼担	准教授	アツセマ 庸代 (63)	平成29年9月	科学の諸相	平成29年3月退職に伴う担当者変更(29)	
兼担	教授	松根 伸治 (47)	平成30年4月	哲学・倫理学における人間の尊厳							
兼担	教授	佐藤 勤 (59)	平成30年4月	法学 / Legal Studies							
兼担	教授	CROKER, Robert Allan	平成30年6月	Introduction to Global Studies B							
兼担	准教授	宮崎 浩伸 (44)	平成30年4月	経済学 / Economics							
兼担	准教授	大塚 弥生 (57)	平成29年4月	性と生命における人間の尊厳 心理学A	兼担	准教授	大塚 弥生 (57)	平成29年9月	性と生命における人間の尊厳 心理学A		履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更(29)
兼担	准教授	浅香 幸枝 (59)	平成29年6月	異文化の理解	兼担	准教授	浅香 幸枝 (59)	平成29年11月	異文化の理解		履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更(29)
兼担	准教授	中島 靖次 (61)	平成29年4月	哲学・倫理学における人間の尊厳 哲学A 知識の探求							
兼担	准教授	林 雅代 (47)	平成29年4月	人間と環境 マスメディア論A(新聞)	兼担	准教授	林 雅代 (47)	平成29年9月	人間と環境 マスメディア論A(新聞)		履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更(29)
兼担	准教授	宮沢 千尋 (54)	平成29年6月	民族問題と人間の尊厳 アジアとの出会い	兼担	教授	宮沢 千尋 (54)	平成29年4月	民族問題と人間の尊厳 アジアとの出会い 日本史B		昇格に伴う職位変更、教育の充実のためのクラス数増に伴う開講科目追加、就任時期の変更(29)
兼担	准教授	藤田(増田) 知加子 (46)	平成29年4月	こころとは	兼担	准教授	藤田(増田) 知加子 (46)	平成29年9月	こころとは		履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更(29)
兼担	准教授	O'CONNELL, Sean (47)	平成29年6月	文化の比較 実践英語1B 実践英語11B	兼担	准教授	O'CONNELL, Sean (47)	平成29年9月	文化の比較 実践英語1B 実践英語11B		科目担当調整により就任時期変更(29)
兼担	准教授	野口 博史 (51)	平成29年6月	アジアとの出会い	兼担	准教授	野口 博史 (51)	平成29年9月	アジアとの出会い		履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更(29)
兼担	准教授	早川 徳香 (44)	平成29年4月	健康科学論							

兼担	准教授	SAGAYARA, Antonymsamy (51)	平成30年4月	民族問題と人間の尊厳			後任未定		民族問題と人間の尊厳	平成29年4月に教員が死亡したため。開講時期までに科目適合教員を補充する予定。(29)
兼担	准教授	藤井 勝之 (38)	平成29年4月	情報社会の構造						
兼担	准教授	RIESSLAND, Andreas (55)	平成29年4月	日本との出会い	兼担	准教授	RIESSLAND, Andreas (55)	平成29年11月	日本との出会い	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	准教授	平川 武仁 (44)	平成29年4月	基礎体育A 基礎体育B スポーツ科学演習B 人間と環境 スポーツ実技(個人スポーツ) スポーツ実技(アウトドラスポーツ) スポーツ実技(健康スポーツ) スポーツ実技(生涯スポーツ)	兼担	教授	平川 武仁 (44)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B スポーツ科学演習B 人間と環境 スポーツ実技(個人スポーツ) スポーツ実技(アウトドラスポーツ) スポーツ実技(健康スポーツ) スポーツ実技(生涯スポーツ)	昇格に伴う職位変更、履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	准教授	水留 正流 (39)	平成30年4月	法と人間の尊厳						
兼担	准教授	KUCICKI, Janusz (50)	平成30年4月	キリスト教概論						
兼担	准教授	大井 (大賀) 由紀 (38)	平成29年4月	社会学A	兼任	講師	加野 泉 (44)	平成29年11月	社会学A	時間割編成の都合により担当者変更(29)
兼担	准教授	畑山 知子 (40)	平成29年4月	基礎体育A 基礎体育B 健康科学論 スポーツ実技(個人スポーツ) スポーツ実技(アウトドラスポーツ) スポーツ実技(健康スポーツ) スポーツ実技(フィットネス)	兼担	准教授	畑山 知子 (40)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B 健康科学論 スポーツ実技(個人スポーツ) スポーツ実技(アウトドラスポーツ) スポーツ実技(健康スポーツ) スポーツ実技(フィットネス)	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	准教授	三輪 まどか (42)	平成29年4月	法と人間の尊厳 法学A	兼担	准教授	三輪 まどか (42)	平成29年11月	法と人間の尊厳 法学A	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	准教授	前田 (高階) 洋枝 (41)	平成29年4月	社会の諸相	兼担	准教授	前田 (高階) 洋枝 (41)	平成29年11月	社会の諸相	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	准教授	鶴見 哲也 (36)	平成29年4月	社会システムと環境	兼担	准教授	鶴見 哲也 (36)	平成29年9月	社会システムと環境	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	准教授	森田 貴之 (37)	平成29年9月	文学をめぐって	兼担	准教授	森田 貴之 (37)	平成29年11月	文学をめぐって	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	准教授	芝垣 亮介 (37)	平成29年4月	ことばとは						
兼担	准教授	小林 (真野) 純子 (38)	平成29年4月	社会の諸相						
兼担	准教授	金 興烈 (44)	平成29年4月	基礎体育A 基礎体育B スポーツ科学論 スポーツ実技(生涯スポーツ) スポーツ実技(フィットネス)	兼担	教授	金 興烈 (44)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B スポーツ科学論 スポーツ実技(生涯スポーツ) スポーツ実技(フィットネス)	昇格に伴う職位変更、履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	准教授	井上 武 (45)	平成30年4月	政治・経済と人間の尊厳			後任未定		政治・経済と人間の尊厳	自己都合により平成28年9月で退職することになったため。開講時期までに科目適合教員を補充する予定。(29)
兼担	准教授	佐藤 啓介 (41)	平成29年11月	宗教論 思想史に学ぶ人間の尊厳	兼担	准教授	佐藤 啓介 (41)	平成29年6月	宗教論 思想史に学ぶ人間の尊厳	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	准教授	高田 一樹 (40)	平成30年4月	政治・経済と人間の尊厳						
兼担	准教授	中尾 陽子 (48)	平成29年4月	心理学A 心理学B						
兼担	准教授	花木 亨 (43)	平成30年6月	メディア論 / Media Studies	兼担	教授	花木 亨 (43)	平成30年6月	メディア論 / Media Studies	昇格に伴う職位変更(29)
兼担	准教授	HOWREY, John (46)	平成29年4月	英語ワークショップB 英語Iオーラルコミュニケーション 英語IIオーラルコミュニケーション 英語IIIオーラルコミュニケーション 英語IVオーラルコミュニケーション	兼担	教授	HOWREY, John (46)	平成29年4月	英語ワークショップB 英語Iオーラルコミュニケーション 英語IIオーラルコミュニケーション 英語IIIオーラルコミュニケーション 英語IVオーラルコミュニケーション	昇格に伴う職位変更(29)
兼担	講師	WOOD, Joseph (36)	平成30年11月	英語ワークショップD						
兼担	講師	長谷川 高則 (57)	平成29年4月	思想・文化をめぐって 社会システムと環境						
兼担	講師	VARGHESE, Rejimon (48)	平成29年11月	宗教論 キリスト教概論	兼担	講師	VARGHESE, Rejimon (48)	平成29年6月	宗教論 キリスト教概論	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	講師	杉原 桂太 (42)	平成29年4月	科学の諸相	兼担	講師	杉原 桂太 (42)	平成29年11月	科学の諸相	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	講師	宮原 佳昭 (39)	平成29年4月	歴史の諸相	兼担	講師	宮原 佳昭 (39)	平成29年9月	歴史の諸相	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	講師	ALVA, Reginald (44)	平成30年4月	宗教に見る人間の尊厳 Citizenship B	兼担	准教授	ALVA, Reginald (44)	平成29年9月	宗教に見る人間の尊厳 Citizenship B 宗教論	昇格に伴う職位変更、教育の充実のためのクラス数増に伴う開講科目追加、就任時期の変更 (29)

兼担	講師	HERA, Marianus Pale (43)	平成29年11月	宗教論 キリスト教概論	兼担	講師	HERA, Marianus Pale (43)	平成29年6月	宗教論 キリスト教概論	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼担	講師	藤川 美代子 (36)	平成29年4月	異文化との接触 日本との出会い	兼担	准教授	藤川 美代子 (36)	平成29年4月	異文化との接触 日本との出会い	昇格に伴う職位変更 (29)
兼担	講師	TEE, Ve-Yin (47)	平成30年11月	文学 / Literature						
兼担	講師	DOIRON, Heather (50)	平成30年4月	英語ワークショップA 英語イマージョンA						
兼担	講師	BIERI, Thomas (54)	平成30年6月	英語ワークショップC 英語イマージョンB						
兼担	講師	DAVANZO, Christopher (50)	平成30年4月	英語Iプレゼンテーション 英語IIプレゼンテーション			後任未定		英語Iプレゼンテーション 英語IIプレゼンテーション	担当者変更。開講時期までに科目適合教員を補充する予定。(29)
兼担	講師	CHAPMAN, Jim (48)	平成30年4月	実践英語IA 実践英語IIA						
兼担	講師	BLYTH, Andrew (41)	平成30年9月	実践英語IC 実践英語IIC						
兼担	講師	後藤 美江 (42)	平成29年4月	英語Iオーラルコミュニケーション 英語IIオーラルコミュニケーション 英語IIIオーラルコミュニケーション 英語IVオーラルコミュニケーション						
兼担	講師	MORRISH Jaime (39)	平成29年4月	英語Iリテラシー 英語IIリテラシー 英語IIIリテラシー 英語IVリテラシー						
兼担	講師	KJELDGAARD Marie (34)	平成29年4月	英語Iリテラシー 英語IIリテラシー 英語IIIリテラシー 英語IVリテラシー						
兼任	講師	柿原 武史 (42)	平成29年4月	ヨーロッパとの出会い	兼担	准教授	中屋 宏隆 (39)	平成29年6月	ヨーロッパとの出会い	時間割編成の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	丸山 めぐみ (64)	平成29年4月	環境と倫理問題						
兼任	講師	榎山 洋介 (56)	平成29年4月	ことばとは	兼任	講師	榎山 洋介 (56)	平成29年6月	ことばとは	科目担当調整により就任時期変更 (29)
兼任	講師	牛島 謙 (62)	平成29年4月	知識の探求						
兼任	講師	江本 菜穂子 (65)	平成29年4月	芸術をめぐって	兼任	講師	梶田 美香 (49)	平成29年9月	芸術をめぐって	時間割編成の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	池田 洋子 (64)	平成29年6月	美術A 美術B	兼任	講師	池田 洋子 (64)	平成29年9月	美術A 美術B	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼任	講師	高畑 祐人 (55)	平成29年4月	環境と倫理問題						
兼任	講師	岡本 耕平 (61)	平成29年4月	人文地理学 地誌概論						
兼任	講師	村瀬 智彦 (53)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B						
兼任	講師	米山 優 (64)	平成29年4月	ヨーロッパとの出会い	兼任	講師	土屋 勝彦 (65)	平成29年6月	ヨーロッパとの出会い	時間割編成の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	大橋 真砂子 (50)	平成29年4月	性と生命における人間の尊厳 西洋史A 西洋史B	兼任	講師	大橋 真砂子 (50)	平成29年11月	性と生命における人間の尊厳 西洋史A	西洋史Bの担当者変更(大橋一岡地)および就任時期の変更(29)
兼任	講師	鷺見 勝博 (59)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B	兼担	教授	岡地 稔 (64)	平成29年6月	西洋史B	時間割編成の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	三枝 有 (62)	平成29年6月	生命と法律問題	兼任	講師	三枝 有 (62)	平成29年4月	生命と法律問題	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼任	講師	チョ スルソップ (51)	平成29年4月	異文化との接触	兼任	講師	チョ スルソップ (51)	平成29年9月	異文化との接触	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼任	講師	平見 俊之 (34)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B						
兼任	講師	大野 波矢登 (47)	平成29年4月	人間と機械	兼任	講師	大野 波矢登 (47)	平成29年4月	人間と機械 科学の諸相	教育の充実のためのクラス数増に伴う担当者追加(29)
兼任	講師	長滝 祥司 (53)	平成29年4月	人間と機械	兼任	講師	長滝 祥司 (53)	平成29年6月	人間と機械	履修の必要性のため開講クォーターを変更したことに伴う就任時期変更 (29)
兼任	講師	浅野 幸治 (57)	平成30年4月	宗教に見る人間の尊厳						
兼任	講師	建部 貴弘 (41)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B スポーツ実技(集団スポーツ)	兼任	講師	柴田 優子 (50)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B	時間割編成の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	星 掲一郎 (50)	平成29年4月	哲学A 哲学B	兼任	講師	建部 貴弘 (41)	平成30年6月	スポーツ実技(集団スポーツ)	基礎体育A,Bの担当者変更(建部・柴田)および就任予定時期の変更(29)
兼任	講師	浦 英雄 (55)	平成30年4月	思想史に学ぶ人間の尊厳						
兼任	講師	小沢 優子 (57)	平成29年4月	音楽A 音楽B 芸術をめぐって	兼任	講師	DUNPHY, Walter (69)	平成29年4月	音楽A	時間割編成の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	星 恭博 (47)	平成29年4月	マスメディア論C(放送) ※						
兼任	講師	川端 進 (49)	平成29年4月	マスメディア論C(放送) ※						
兼任	講師	山田(荒川) 幸代 (39)	平成29年6月	文化の比較						

兼任	講師	佐竹 創平 (37)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B						
兼任	講師	山口 宏 (47)	平成30年4月	思想史に学ぶ人間の尊厳						
兼任	講師	高山 伸也 (46)	平成30年4月	スポーツ実技(個人スポーツ) スポーツ実技(集団スポーツ) スポーツ実技(健康スポーツ)	兼任	講師	高山 伸也 (46)	平成29年6月	スポーツ実技(個人スポーツ) スポーツ実技(集団スポーツ) スポーツ実技(健康スポーツ) 基礎体育A 基礎体育B	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加(29)
兼任	講師	三木 誠 (54)	平成29年4月	異文化との接触						
兼任	講師	西田(小平) 裕紀子 (43)	平成29年4月	心理学A 心理学B	兼任	講師	西田(小平) 裕紀子 (43)	平成29年9月	心理学A 心理学B	履修の必要性のため開講 クォーターを変更したことに 伴う就任時期変更(29)
兼任	講師	中原 聖乃 (51)	平成29年4月	異文化の理解 社会の諸相						
兼任	講師	谷口 公平 (51)	平成29年4月	マスメディア論C(放送) ※	兼任	講師	大池 雅光 (56)	平成29年4月	マスメディア論C(放送) ※	講師本務先の都合により担 当者変更(29)
兼任	講師	小林 培男 (66)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B						
兼任	講師	杉尾 浩規 (44)	平成29年6月	異文化の理解	兼任	講師	杉尾 浩規 (44)	平成29年4月	異文化の理解	履修の必要性のため開講 クォーターを変更したことに 伴う就任時期変更(29)
兼任	講師	藤波 初木 (44)	平成29年9月	地球科学B						
兼任	講師	長尾 良子 (54)	平成29年4月	法学A	兼任	講師	長尾 良子 (54)	平成29年9月	法学A	履修の必要性のため開講 クォーターを変更したことに 伴う就任時期変更(29)
兼任	講師	黒宮 英作 (47)	平成29年4月	マスメディア論B(放送) ※	兼任	講師	川本 哲也 (54)	平成29年4月	マスメディア論B(放送) ※	講師本務先の都合により担 当者変更(29)
兼任	講師	三野 義尚 (45)	平成29年4月	地球科学A						
兼任	講師	安藤 則子 (59)	平成29年4月	マスメディア論C(放送) ※						
兼任	講師	土井 崇弘 (43)	平成30年4月	法と人間の尊厳						
兼任	講師	三谷 竜彦 (44)	平成30年4月	性と生命における人間の尊厳						
兼任	講師	鈴木 秀憲 (34)	平成29年4月	ことばとは	兼任	講師	成瀬 翔 (30)	平成29年6月	ことばとは	時間割編成の都合により担 当者変更(29)
兼任	講師	林 義人 (48)	平成29年4月	マスメディア論B(放送) ※						
兼任	講師	田島 充貴 (47)	平成29年4月	マスメディア論C(放送) ※	兼任	講師	清水 伸司 (48)	平成29年4月	マスメディア論C(放送) ※	講師本務先の都合により担 当者変更(29)
兼任	講師	井上 寛雄 (41)	平成29年4月	情報社会の構造	兼任	講師	井上 寛雄 (41)	平成29年6月	情報社会の構造	履修の必要性のため開講 クォーターを変更したことに 伴う就任時期変更(29)
兼任	講師	本村 扇仁 (59)	平成29年6月	物理学A 物理学B	兼任	講師	本村 扇仁 (59)	平成29年4月	物理学A 物理学B	履修の必要性のため開講 クォーターを変更したことに 伴う就任時期変更(29)
兼任	講師	沢邊 恭一 (54)	平成29年6月	化学 生活環境と物質	兼任	講師	沢邊 恭一 (54)	平成29年4月	化学	履修の必要性のため開講 クォーターを変更したことに 伴う就任時期変更(29)
					兼任	准教授	成田 靖子 (63)	平成29年6月	生活環境と物質	時間割編成の都合により担 当者変更(29)
兼任	講師	長澤 壮平 (45)	平成30年4月	宗教に見る人間の尊厳						
兼任	講師	水野 貴正 (34)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B スポーツ実技(フィットネス)	兼任	講師	竹之内 隆志 (50)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B	時間割編成の都合により担 当者変更(29)
兼任	講師	笠井 千央 (27)	平成29年4月	マスメディア論B(放送) ※	兼任	講師	水野 貴正 (34)	平成30年11月	スポーツ実技(フィットネス)	担当科目変更に伴う就任予 定期限の変更(29)
兼任	講師	森本 弘行 (44)	平成29年4月	マスメディア論C(放送) ※						
兼任	講師	藤原 慎一 (37)	平成29年4月	自然環境と生物 生命自然史 生命科学	兼任	講師	藤原 慎一 (37)	平成29年6月	自然環境と生物	担当科目変更に伴う就任時 期の変更(29)
					兼任	講師	江田 信豊 (65)	平成29年4月	生命自然史 生命科学	時間割編成の都合により担 当者変更(29)
兼任	講師	鈴木 康弘 (56)	平成29年6月	自然地理学	兼任	講師	鈴木 康弘 (56)	平成29年4月	自然地理学	履修の必要性のため開講 クォーターを変更したことに 伴う就任時期変更(29)
兼任	講師	大園 誠 (45)	平成29年4月	政治学A 政治学B						
兼任	講師	佐藤 久美 (久美子) (63)	平成29年6月	地誌概論	兼任	講師	佐藤 久美 (久美子) (63)	平成29年9月	地誌概論	履修の必要性のため開講 クォーターを変更したことに 伴う就任時期変更(29)
兼任	講師	近松 仁志 (51)	平成29年4月	マスメディア論B(放送) ※	兼任	講師	佐藤 啓 (54)	平成29年4月	マスメディア論B(放送) ※	講師本務先の都合により担 当者変更(29)
兼任	講師	多湖 慎一 (51)	平成29年4月	マスメディア論C(放送) ※	兼任	講師	柴田 正登志 (47)	平成29年4月	マスメディア論C(放送) ※	講師本務先の都合により担 当者変更(29)
兼任	講師	川本 謙一 (50)	平成29年4月	マスメディア論C(放送) ※	兼任	講師	福地 雅也 (53)	平成29年4月	マスメディア論C(放送) ※	講師本務先の都合により担 当者変更(29)
兼任	講師	奥井 篤也 (45)	平成29年4月	マスメディア論C(放送) ※						
兼任	講師	吉田 早悠里 (36)	平成30年4月	民族問題と人間の尊厳	専	准教授	吉田 早悠里 (35)	平成29年4月	民族問題と人間の尊厳	蔵本龍介准教授就任辞退に 伴い後任として採用(29)
兼任	講師	山口 佐和子 (54)	平成29年4月	社会の諸相						
兼任	講師	中島 満大 (34)	平成29年4月	社会学B	兼任	講師	中島 満大 (34)	平成29年9月	社会学B	科目担当調整により就任時 期変更(29)
兼任	講師	安部 真弥子 (44)	平成29年4月	マスメディア論B(放送) ※	兼任	講師	栗田 美和 (52)	平成29年4月	マスメディア論B(放送) ※	講師本務先の都合により担 当者変更(29)

兼任	講師	内藤 庸介 (39)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※						
兼任	講師	板谷 学 (46)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	兼任	講師	伊藤 隆基 (47)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	講師本務先の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	三澤 慎一郎 (54)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	兼任	講師	外山 陽子 (44)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	講師本務先の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	中保 謙 (51)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	兼任	講師	澤田 岳志 (51)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	講師本務先の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	今村 恵子 (43)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	兼任	講師	原 京二 (52)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	講師本務先の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	前田 麻衣子 (41)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	兼任	講師	池田 京平 (45)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	講師本務先の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	川畑 宏海 (36)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	兼任	講師	福島 康晃 (27)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	講師本務先の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	鈴木 雄也 (27)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	兼任	講師	荻須 結花 (35)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	講師本務先の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	村地 賢 (40)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※						
兼任	講師	坂井 一磨 (41)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	兼任	講師	山本 晋二 (52)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	講師本務先の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	飯田 勝人 (52)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	兼任	講師	勝山 実香 (34)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	講師本務先の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	鈴木 要一郎 (62)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	兼任	講師	岩田 敏裕 (57)	平成29年4月	マスメディア論B (放送) ※	講師本務先の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	太田 雅人 (44)	平成29年4月	マスメディア論C (放送) ※	兼任	講師	大西 真祐 (40)	平成29年4月	マスメディア論C (放送) ※	講師本務先の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	置山 裕之 (50)	平成29年4月	マスメディア論C (放送) ※	兼任	講師	木山 亮平 (42)	平成29年4月	マスメディア論C (放送) ※	講師本務先の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	大塚 敏郎 (45)	平成29年4月	マスメディア論C (放送) ※						
兼任	講師	細見 愛咲 (52)	平成29年4月	マスメディア論C (放送) ※	兼任	講師	濱千代 治彦 (50)	平成29年4月	マスメディア論C (放送) ※	講師本務先の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	加藤 普由子 (56)	平成30年4月	英語I翻訳 英語II翻訳 英語I通訳 英語II通訳						
兼任	講師	渡部 展也 (42)	平成29年4月	東洋史A 東洋史B						
兼任	講師	BRUNOTTE, Josh (36)	平成29年4月	英語Iオーラルコミュニケーション 英語IIオーラルコミュニケーション 英語IIIオーラルコミュニケーション 英語IVオーラルコミュニケーション Advanced English Literacy	兼任	講師	CALANTAS, Teresita (63)	平成29年4月	英語Iオーラルコミュニケーション 英語IIオーラルコミュニケーション 英語IIIオーラルコミュニケーション 英語IVオーラルコミュニケーション	時間割編成の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	KUMAI, William Naoki (57)	平成29年4月	英語Iオーラルコミュニケーション 英語IIオーラルコミュニケーション 英語IIIオーラルコミュニケーション 英語IVオーラルコミュニケーション Advanced English Communication GLS English V	兼任	講師	BRUNOTTE, Josh (36)	平成30年4月	Advanced English Literacy	英語I～IVオーラルコミュニケーションの担当者変更(BRUNOTTE→CALANTAS)および就任予定時期の変更(29)
兼任	講師	CAPITIN-PRINCIPE, Abigail (45)	平成29年4月	英語Iオーラルコミュニケーション 英語IIオーラルコミュニケーション 英語IIIオーラルコミュニケーション 英語IVオーラルコミュニケーション Advanced English Communication						
兼任	講師	HASTINGS, Christopher Robert (35)	平成29年4月	英語Iオーラルコミュニケーション 英語IIオーラルコミュニケーション 英語IIIオーラルコミュニケーション 英語IVオーラルコミュニケーション Advanced English Communication						
兼任	講師	伊藤 聡子 (46)	平成29年4月	Advanced English Literacy GLS English I GLS English II GLS English III GLS English IV GLS English V						
兼任	講師	水野 眞紀 (57)	平成29年4月	英語Iリテラシー 英語IIリテラシー 英語IIIリテラシー 英語IVリテラシー GLS English I GLS English II GLS English III						
兼任	講師	石崎 保明 (45)	平成29年4月	英語Iリテラシー 英語IIリテラシー 英語IIIリテラシー 英語IVリテラシー Advanced English Literacy GLS English I						
兼任	講師	中田 晶子 (60)	平成29年4月	英語Iリテラシー 英語IIリテラシー Advanced English Literacy						
兼任	講師	丹羽 敦代 (55)	平成29年4月	英語Iリテラシー 英語IIリテラシー GLS English I						

兼任	講師	PALISADA Eloisa (58)	平成29年4月	GLS English I GLS English II GLS English III GLS English IV GLS English V						
兼任	講師	クマイ 恭子 (49)	平成29年4月	GLS English I	専	准教授	鹿野 緑 (61)	平成29年4月	GLS English I	クマイ恭子講師が病気のた め担当者変更(29)
				Advanced English Literacy	兼任	講師	クマイ 恭子 (49)	平成30年4月	Advanced English Literacy	GLS English Iの担当者変 更(クマイ-鹿野) および 就任予定時期の変更 (29)
兼任	講師	HERGOTT Florian (33)	平成30年9月	GLSフランス語I GLSフランス語II GLSフランス語III						
兼任	講師	細井 直子 (47)	平成30年9月	GLSドイツ語I GLSドイツ語II GLSドイツ語III						
兼任	講師	APAZA Pablo (51)	平成30年9月	GLSスペイン語I GLSスペイン語II GLSスペイン語III						
兼任	講師	中野 麻里子 (41)	平成30年9月	中国語I 中国語II 中国語III						
兼任	講師	趙 晴 (45)	平成30年9月	GLS中国語I GLS中国語II GLS中国語III						
兼任	講師	岩田 晶子 (45)	平成30年9月	GLSインドネシア語I GLSインドネシア語II GLSインドネシア語III						
兼任	講師	SCRUGGS, Edward (67)	平成30年4月	Advanced English Communication						
兼任	講師	NICKSICK, Thomas (61)	平成30年4月	Advanced English Literacy						
					兼任	教授	細谷 博 (67)	平成29年4月	文学A	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加(29)
					兼任	教授	高見 勲 (68)	平成29年6月	人間と機械	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加(29)
					兼任	教授	小林 翠子 (63)	平成29年9月	思想・文化をめぐって	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加(29)
					兼任	講師	三上 佳佑 (28)	平成29年6月	日本国憲法	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加(29)
					兼任	講師	飯田 祥明 (31)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加(29)
					兼任	講師	原 由紀恵 (42)	平成29年6月	短期留学プログラム(春季)A 短期留学プログラム(春季)B 短期留学プログラム(夏季)A 短期留学プログラム(夏季)B	教育の充実のための担当者 追加(29)
					兼任	講師	DUNPHY, Walter (69)	平成29年4月	宗教論	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加(29)
					兼任	講師	浅井 太郎 (46)	平成29年4月	宗教論	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加(29)
					兼任	講師	福田 和夫 (62)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加(29)
					兼任	講師	肥田 満裕 (52)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加(29)
					兼任	講師	小林 秀一 (66)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加(29)
					兼任	講師	石川 恭 (52)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加(29)
					兼任	講師	横山 慶子 (34)	平成29年6月	基礎体育A 基礎体育B	時間割編成の都合により担 当者変更(29)
					兼任	講師	梅村 麦生 (31)	平成29年9月	社会学B	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加 (29)
					兼任	講師	鈴木 淳生 (44)	平成29年9月	情報を読む	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加 (29)
					兼任	講師	SUSAI, Raj (47)	平成29年11月	宗教論	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加(29)
					兼任	講師	野村 幸弘 (56)	平成29年11月	ヨーロッパとの出会い	教育の充実のためのクラス 数増に伴う担当者追加 (29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
11 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
12	8	3	0	23	12	8	3	0	23	12	8	3	0	23
(12)	(8)	(3)	(0)	(23)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	准教授	藏本 龍介	選択	文化人類学A	①	国際教養学部設置の届出書提出後に、急遽、他大学へ移籍が決定したため就任辞退（29）				
			必修	学びの技法	①					
			必修	シティズンシップ論A / Citizenship A ※	①					
			必修	多元文化論A / Multiculturalism A ※	①					
			必修	創造的・批判的思考 / Creative and Critical Thinking	①					
			選択	民族学 / Ethnology ※	①					
			必修	サステナビリティと民族・文化 / Sustainability, Ethnicity, and Culture ※	①					
			必修	演習I	①					
			必修	アドヴァンスト演習I	①					
			必修	アドヴァンスト演習II	①					
			必修	卒業論文研究I	①					
			必修	卒業論文研究II	①					
			選択	基礎演習A	①					
			選択	基礎演習B	①					
			選択	PBL演習C（社会）	①					
選択	演習II	①								
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1		該当なし				
2						
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	10 科目	必修	10 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	6 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	16 科目	計	16 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退 (未就任) 及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

蔵本龍介の他大学への移籍が判明した段階で本人に厳重に注意を行い、速やかに蔵本の担当予定科目の授業を担当できる教員の採用人事を行った。その結果、蔵本の担当予定科目に適合する専門性と業績を有する吉田早悠里を専任教員として平成29年2月に任用することを決定した。そのため、この専任教員の交代による担当科目のシラバス等の変更については、学生が授業の履修登録をする以前に余裕をもって周知することができたので支障はなかった。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<国際教養学部 国際教養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 施設・設備</p> <p>a. ライティングセンター R棟6階に設置、面積200.00㎡</p> <p>b. 専任教員研究室、学部事務室、合同研究室 R棟6階、7階に設置</p>	<p>①</p> <p>a. 届出時の図面には「ライティングセンター」と記載していたが、名称の表記が適切ではなかったため「GLSラーニングコモンズ」（国際教養学部専用）に改めた。また、予定していたR棟から新たに建設したQ棟の7階に、設置時に計画していた広さより広いスペース(243.04㎡)を確保して開設した。</p> <p>b. 国際教養学部の教員の研究室および学部事務室、教育をサポートする合同研究室を予定していたR棟から新たに建設したQ棟の7階に設置することとし、教育と研究の一体性を高めた。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 大学全体としてFD委員会を設置している。 (別添資料：「南山大学ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会規程」)</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 各学部または各研究科から選出された委員および学長に指名された委員により、年6回開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 学生による授業評価のあり方、FDの方策等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の資質の維持向上のための年間計画の策定 ・ 授業運営（特にアクティブラーニング）についてのFD研修会 ・ 教員相互の授業参観（英語科目、学びの技法科目など） ・ 新任教員（1名）のための研修会 ・ 国内外での研究発表の奨励 <p>b 実施方法 「南山大学ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会」の全学的な教育支援活動と連動し、国際教養学部独自のFD活動を実施している。授業運営に資するFD研修会を年間計画に従い教授会後に実施している。教員相互の授業参観については、「国際教養学入門」は事前の連絡なしに、学部教員が随時参加することとし、英語科目と「学びの技法」などの初年次教育科目については、担当者相互に参観し合っている。新任教員の研修は全学で実施するとともに、学部独自に実施した。授業、学部運営の実施に支障がないことを確認した上で、国内外での教員の研究成果の発表を奨励し、教員の研究活動および教育活動を活性化させる取り組みを行っている。</p>
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

設置準備段階の平成28年度から、国際教養学部にも所属する教員のために授業運営に資するFD研修会を2回開催してきた。また、平成29年度4月以降もすでに教授会後にFD研修会を1回開催し、9割の教員が参加した。授業の参観は、すでに2回の「国際教養学入門」の授業に数名の教員が参観をした。英語科目はコーディネーターが、運営に関するミーティングを開催するとともに、授業参観を行い相互にアドバイスを行っている。国内外での研究論文の発表および調査のための出張申請が平成29年度の前半にすでに10件程度出され、順次、実施されている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員相互の授業参観を行った後、教員間で議論を行い、授業改善の取り組みを行っている。特に学部が開講主体である英語科目、「学びの技法」などの初年次教育科目についてはそれぞれ2回行い、受講している学生がより積極的に授業に参加できる工夫を、「国際教養学入門」については教授会の後に研修会を実施し大教室におけるアクティブラーニングの効果的な実践方法の共有を行い、授業改善に結びつけている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施有。平成29年度はクォーター制導入に伴い、各クォーター末に実施する。（年4回）

b 教員や学生への公開状況、方法等

第1クォーター・第2クォーターの科目は当該年度11月までに、第3クォーター・第4クォーターの科目は翌年度5月までに教育・研究支援事務室のWebページで授業評価等を公開し、冊子体を学生関係部署、図書館で閲覧できるようにしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

21世紀市民社会における問題解決に取り組んでいくことができ、地球規模で思考できる人材、ならびに優れたコミュニケーション能力と異文化理解力を基に国際社会及び地域社会に貢献できる実践的な人材を養成するための教育課程を編成するという設置の趣旨に基づき、計画通り平成29年4月から国際教養学部を設置し滞りなく教育を実施している。入学者選抜については、2つの国際教養学部特別選抜試験を含む全ての種別の選抜試験を計画通り実施し、ほぼ定員通り（154名：5月1日現在）の入学者を得ている。施設・設備等については、計画を一部変更し新たに建設した棟を国際教養学部割り当て、当初計画より充実した施設・設備となっている。学部の管理運営については、大学学則に基づき設置された国際教養学部教授会により計画通り行われている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年7月公表予定

b 公表方法

・自己点検評価報告書を刊行し、自己点検・評価委員会委員（21名）およびピア・レビュー委員会委員（6名）に対し、各1部配布予定。
・大学Webページ上に平成30年7月公表予定。

③ 認証評価を受ける計画

南山大学は、公益財団法人大学基準協会による2013年度大学評価（認証評価）の結果、大学基準に適合していると認定された。認定機関：2014年4月1日～2021年3月31日

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (2017年 5月 31日)

南山大学ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会規程

(目 的)

第1条 南山大学の建学の理念に基づき、教育活動の質的向上と発展を期して、ファカルティ・ディベロップメント活動の運営および今後のあるべき方向を検討するため、南山大学自己点検・評価委員会のもとに南山大学ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会 (以下「委員会」という。) を置く。

(審議事項等)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項を審議し、FD を推進するための活動を行う。

- 1 FD 推進のための企画および実施に関すること。
- 2 FD に関する報告作成に関すること。
- 3 その他 FD の推進に関すること。

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次の各号の委員をもって構成する。

- 1 学部選出の教育職員 各学部 1名
 - 2 学長の指名する教育職員および事務職員 若干名
- ② 事務局を教育・研究事務部教育・研究支援事務室に置き、委員会事務を担当する。

(委員長等)

第4条 委員長は、前条に定める委員の中から大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

- ② 委員会は、委員長が招集する。
- ③ 委員会に議長を置き、委員長がこれに当たる。
- ④ 委員長に事故あるときは、委員の互選により委員長を代行する者を選出する。
- ⑤ 委員会は、構成員の過半数の出席によって成立し、その議決は、出席委員の過半数をもって決する。可否同数のときは、議長の決するところによる。
- ⑥ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(任 期)

第5条 委員長および委員の任期は、2年とする。ただし、補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- ② 委員長および委員は、再任を妨げない。

(規程の改正)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、2005年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2011年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2017年4月1日から施行する。